

一般社団法人鎌倉ラグビースクール  
安全運営方針・AED運用マニュアル

本マニュアルは、鎌倉ラグビースクール（以下、KRS）の安全運営方針に附属するAED運用マニュアルである。

## 1. 適用

KRSが保有するAEDの運用について適用する。

## 2. 運用方法

### 1) 保管

(1) 深沢グラウンド内のKRS備品倉庫

- ①AEDは深沢グラウンド内のKRS備品倉庫に設置する。盗難防止のため倉庫の窓などへAEDマークは付けない。
- ②AED本体に下記の物品を装着もしくは近傍に保管する。
  - a.AED操作ガイド
  - b.人工呼吸用のポケットマスク（大、小）
  - c. レスキューキット（AEDを使用する際に必要なもの）  
（構成品：タオル、ハサミ、蘇生用マウスピース、剃刀、ペーパータオル、グローブ）
  - d.点検表
  - e.講習会受講者名簿

(2) 管理者責任者の自宅

- ①AED導入に関する下記の書類を保管する。
  - a.契約書類一式
  - b.取扱説明書
- ②管理責任者が交替した場合には上記①の関連書類を後任者へ引き継ぐ。

### 2) 管理

- (1) 管理責任者及び管理者はKRSで任命される安全担当とする。
- (2) 毎日の点検は練習及び試合などKRSの活動開始前に管理者が実施する。なお、メーカーの取扱説明には毎日点検となっているが、KRSでは活動開始日点検と置換えて実施する。
- (3) 毎月の点検は管理者または管理者が実施する。
- (4) 管理者が所定の書式に従って点検を実施し、点検表は3年間保管する。
- (5) 点検は管理者が指名した使用責任者も実施できる。

### 3) 使用責任者

- (1) 事故発生時の一次救命処置を実施する者を明確にし、処置着手までのタイムラグを排除するため、使用責任者を決める。
- (2) 学年毎に使用責任者を1名以上選出し、ヘッドコーチとともに講習を受ける。
- (3) 講習会を受講した使用者は受講者名簿にて管理する。
- (4) AED使用者の優先順位は以下の通りとする。  
チームドクター>対象生徒のヘッドコーチ>対象生徒の学年使用責任者  
※チームドクターが不在の場合はヘッドコーチ。さらにヘッドコーチが不在の場合は学年使用責任者が一時救命処置を実施する。
- (5) 上記の対象者が不在もしくは現場に居合わせない場合はこの限りではない。
- (6) 使用責任者は救命処置を経時的に記録する。

### 4) 深沢グラウンド以外へのAED携行

- (1) 4学年以上が参加する遠征や合宿には携行する。（例：小3～小6の遠征は携行する）
- (2) 各学年が異なる会場に遠征する場合には、最も参加人数が多い学年に携行させる

(3) 参加人数がほぼ同数の場合には、公共场所での AED から最も遠い場所（可及的速やかな AED の使用が困難な場所）での練習の学年に携行させる

※AED 設置場所は「2. 参考資料」に示すホームページなどで検索する。

(4) 遠征及び合宿へは、管理者もしくは管理者が指名した使用責任者が携行する。

(5) 遠征前に遠征先に AED が設置されていることが確認された場合には携行しなくてもよい。

(6) 遠征先の設置確認はヘッドコーチが行い、管理責任者へ携行の必要がないことを報告する。

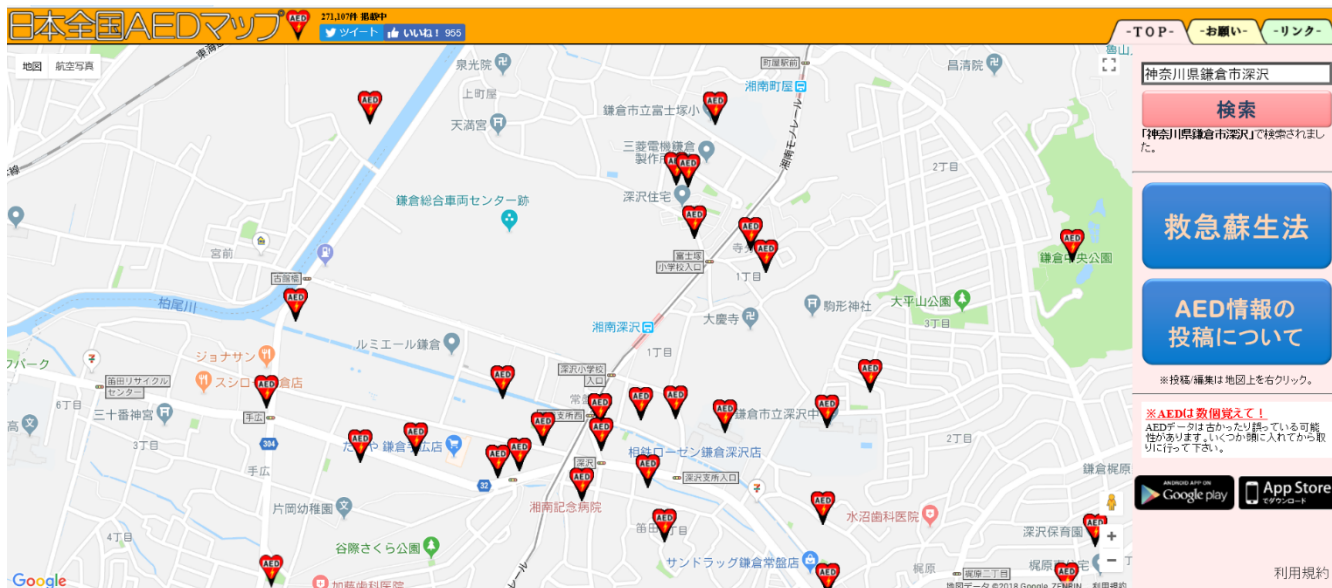
### 3. 参考資料

1) AED の設置場所を検索するホームページ URL (2018 年 3 月現在)

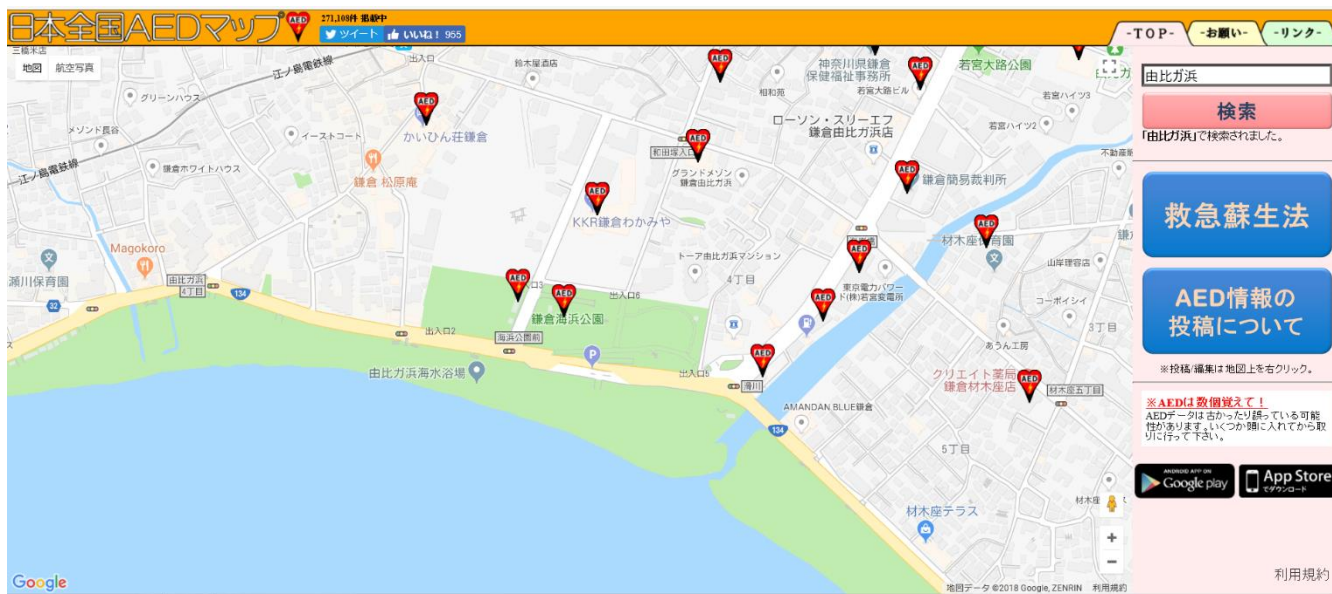
日本全国 AED マップ <http://aedm.jp/>

2) 上記 1) で検索した設置場所

①深沢グラウンド付近の設置場所 (2018 年 3 月現在)



②由比ガ浜付近の設置場所 (2018 年 3 月現在)



### 4. 添付資料

1) KRS・AED 点検表

以上

---

・初版 2018年4月15日